



～使命の実現～

2015年7月10日発行 7月号 No. 245

◇「通常総会懇親会 大高会長のご挨拶」

総会の方も、無事終了され、誠におめでとうございます。

日頃、ロジ研の皆さんには、関係各方面との連携を深めつつ、協会の事業活動を、様々な角度からサポートしていただき、改めて感謝申し上げます。

常々思いますことは、目先のことには右往左往するのではなく、もっと将来を見据えた、中長期的な活動も必要ではないか、ということあります。

言い換れば、業界として、夢を追い求める活動があっても良いのではないか、ということあります。

皆さんの今年度統一テーマは「使命の実現」ということですが、そこには、協会の重点施策を、大いにバックアップしていくこうという、熱い思いを感じております。

すでに、新型の燃料や安全装置に関する調査研究にも着手いただいておりまして、皆さんの情熱と行動力に対し、大変嬉しく、そして、心強く思った次第であります。

今後とも、業界の明日を切り開くパイオニアとして、その力をフルに発揮していただきたいと思っておりますし、引き続きのご協力を、ぜひとも、よろしくお願ひ致します。

結びにあたり、ロジ研のますますの活躍と、ご参会の皆さんのご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

平成27年度事業計画書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 活動方針

昨年度の協会活動を振り返りますと、改革元年とも言うべき一大変革期となつた。大高会長からの支部重視、会員重視を旗印に支部を内部組織化する公認化が実現され、当協会が抱える諸問題に対し、従来以上に一枚岩として強力な組織体制で対応できる基盤が整つたものと確信する。三組織の連携活動に於いても各々の個別方針を全うしつつ、協会と足並みを揃え、会員の皆様に喜んで頂ける活動を展開する。こうした中、大高会長からは当ロジ研に対し「会員の皆さんの夢を実現する組織であって欲しい」との目標を頂戴し、個別提案として「新型燃料と新型安全装置に関する調査研究」についての活動を開始した。

新年度はロジ研統一テーマを「使命の実現」とし、東ト協本部の新年度重点施策である「安全・安心の確保」並びに「環境問題への対応」推進への一助となるべく「新型燃料、新型安全装置に関する調査研究」を進め、ロジ研物流政策委員会に於いては同じく「駐車問題への対応」に向け駐車問題対策検討小委員会と、また「再生産可能な適正運賃の収受」に向け適性運賃収受検討小委員会との情報交換を密にしてその使命の実現に向けて活動を継続する。

昨年度のロジ研活動方針に於いてロジ研の憲章とも言うべき「オピニオン」の見直しを進めたが、平成22年発行のオピニオンを新年度も踏襲することとし、我々ロジ研会員の活動規範として活用を継続する。また前述の通り、昨年度内に大高会長より具体的な使命を頂戴できた為、ロジ研活動の年間の有効性を確認する場として8年間に渡り続けてきた「フォーラム」を「シンポジウム」に改め、具体的使命の達成状況を確認する場として活用する。

東ト協の変わらぬご支援をお願いすると共に「会員の皆さんの夢を実現する組織」としての責任を自覚しつつ活動を推進することとする。

2. 年間統一テーマ 「使命の実現」

3. 事業計画

(1) 研修会の体系的・計画的実施 年間統一テーマにかかる内容で効果的な研修会を実施する。

(2) シンポジウムの開催 業界の課題、問題点等を調査研究し、シンポジウムで発表する。

(3) 納涼会の実施 会員間の親睦を図るとともに、関東運輸局・東京運輸支局長表彰等受賞会員を祝賀する納涼会を開催する。

(4) 温故創新セミナーの実施 歴史上の人物の足跡を現地で学び、古きを訪ね新しきを創る「温故創新セミナー」を本年度も企画し、実施する。

(5) 研究視察の実施 国内外の交通物流事情や経営環境等を学ぶため、関連する施設の視察や現地の関係者との意見交換を実施する。

(6) 人材養成事業への協力 ロジスティクス研究会が青年部OBによる自主的研修集団として発足した経緯に鑑み、今後とも東ト協の人材養成事業に協力していく。特に次世代経営者を養成する「物流経営士課程」については、旧青年部員が参加した特別物流経営士課程がその嚆矢(こうし)となっていることから、講師・指導員として協力していく。また、運輸事業助成交付金による支部研修活動についても、三組織による合同研修会の企画等についてリーダー的役割を果たすよう務めていく。

(7) 広報活動の充実 機関紙「ひびき」は、会員の貴重な情報源であることから、テーマを決めた紙面作り等により工夫を凝らしていくとともに、ホームページとの連動を図る。また、ロジスティクス研究会ホームページについては、活用の可能性を高めながら引き続き展開・運営していく。

(8) 忘年会の実施 会員間の親睦を図り、新年に向けた銳気を養うため忘年会を実施する。

(9) チャリティゴルフコンペの実施 健康増進とコミュニケーションを図るとともに、社会貢献活動の一環としてチャリティゴルフコンペを企画・実施する。

(10) 組織の充実強化 各支部の実情を把握し、会員の加入促進を図る。

(11) 東ト協本部との連携強化 東ト協本部との連携を更に深め、諸施策等を密接な連絡体制のもと推進する。

(12) 三組織の連携 三組織合同セミナー・交流会等の実施 ①青年部、女性部との三組織は、世代、性別を超えた物流事業経営者としての連携を強めるため、合同の事業を企画・実施している。本年度は、例年2月に開催している三組織の合同セミナー・新年会は女性部が担当する年であるので、会員の力を結集し、協力する。 ②三組織連絡会の運営：三組織の連携をより密にし、各組織の事業の円滑化を図るとともに東ト協の政策の浸透を図るため、定期的に開催する。

(13) 関東運輸局自動車交通部・東京運輸支局等運輸行政との情報交換の推進 合同でトラック産業の諸問題や将来ビジョン等に関する勉強会を開催する事により情報交換を推進する。

(14) 海外交流分科会の活動 タイトラック協会等海外物流組織との交流を継続すると共に、各国の物流事情及び現地組織等を調査する。

◇「27年度第1回本部連絡会(大高会長をお招きして)」

7月6日(月) 大高会長には大変にお忙しい中、ご無理をお願いして本部連絡会にお越し頂きました。担当である宮本本部連絡委員長の強引ともいえる調整により、日程が2週間前に決定したことを考えますと、ご無礼を承知の上での直訴？に近いお説いであったのではと推測をさせて頂きました。内容は8月号に掲載させていただきます。

広報委員長

◇スケジュール 《○ロジ研行事予定》

- 7/10(金) 15:00～ 正副本部長会議(全ト総合会館3階C)
- 8/4(火) 16:00～ 正副本部長会議(東ト総合会館6中)
- " 18:00～ 納涼会(明治記念館)
- 8/10(月) 16:00～ 行政との勉強会(東ト総合会館6中)